

音楽療法士の資格とは

音楽療法の資格の内容や制度は、国によって異なります。

アメリカで資格を得た音楽療法士のことを米国認定音楽療法士 (MT-BC) といいます。MT-BC になるには米国音楽療法学会 (AMTA) の承認を受けた大学の音楽療法のカリキュラムを終了しなくてはなりません。

大学では導入から理論、実践、研究までの様々な音楽療法のクラスからセラピーの過程を学びます。音楽療法だけでなく、音楽理論や音楽史、ピアノ、ギター、声楽、パーカッション、アンサンブルといった音楽のクラスに加え、心理学や解剖学なども必修となっています。1,200 時間の臨床経験も必須であり、その内の 900 から 1,040 時間は大学外でのインターンシップで行うことになっています。

本法人の活動にご協力いただく登録音楽療法士は、適切なスーパーバイザーの下での Medical Music Therapy の臨床経験が 500 時間以上で、音楽療法修士課程以上の学歴を有し、セッションにおける言語介入スキルならびに患者とその家族、医療スタッフとのコミュニケーションスキルを持った米国認定音楽療法士の国家試験 (CBMT) に合格した米国認定音楽療法士です。プロフィールは下記ホームページをご覧ください。

URL : <http://www.japmmt.jp/about/ryouhoushi.html>

臨床試験への参加

音楽療法の有効性を検証するための多施設共同臨床試験を実施します。ご協力いただける場合は、下記までメールでお問い合わせ下さい。施設の状況を伺い、相談させていただきます。

E-Mail : music@japmmt.jp

入会申込について

本法人への入会希望者は当法人ホームページ

URL : <http://www.japmmt.jp/>

にアクセスいただき、定款をご確認の上、会員申込書をダウンロードいただき、必要事項をご記入の上、下記メール宛先まで申込書添付でお送り下さい。

E-Mail : music@japmmt.jp

入会金 : 正会員 1,000 円, 賛助会員 なし

年会費 : 正会員 2,000 円

賛助会員(個人) 10,000 円 (一口)

賛助会員(団体) 50,000 円 (一口、出来れば
二口以上でお願いいたします)

振込先 : みずほ銀行 五反田支店

口座名 : 一般社団法人 音楽療法振興協会

口座番号 : (普) 4294042

※お振込みを確認しだい、会員登録をさせていただきます。

事務処理の時間的制約上ご連絡が遅くなる可能性がありますことをご了承下さい。なお、賛助会員(団体)については、ホームページ上で逐次団体名を掲載させていただきます。

連絡先

名称 : 一般社団法人 音楽療法振興協会

住所 : 東京都品川区東五反田 2 丁目 2 0 番 4 号

NMF 高輪ビル 8F ユーロメディテック株式会社社内

TEL&FAX : (03) 3441-8191

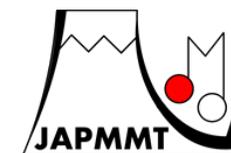
E-Mail : music@japmmt.jp

<http://www.japmmt.jp/>



一般社団法人 音楽療法振興協会

Japanese Association for Promotion of
Medical Music Therapy (JAPMMT)



設立趣意書

一般社団法人 音楽療法振興協会
理事長 早川 和重

医療では、医療技術の提供とともに病に罹患したことにより生じる様々な苦痛（トータルペイン）（身体的苦痛・精神的苦痛・社会的苦痛・スピリチュアルペイン）への対応が重要です。とくに、がん、難病、精神疾患等に罹患した患者への心のケアでは、医療者の対応のみでは苦痛を緩和できないことが少なくありません。また、患者の家族を含めた総合的なケアを要することもしばしばです。がんを例にとると、平成19年4月1日に施行された「がん対策基本法」ならびに本法に基づく「がん対策基本計画」では、「がん医療に携わる医療従事者への研修や緩和ケアチームなどの機能強化等により、がんと診断された時から患者とその家族が、精神心理的苦痛に対する心のケアを含めた全人的な緩和ケアを受けられるよう、緩和ケアの提供体制をより充実させる」ことが重要課題の一つに挙げられています。今日、アメリカやヨーロッパ諸国では、患者の苦痛を効果的に緩和する有効な方法として音楽療法は広く認識されており、医療に取り入れられております。

医療における音楽療法とは、臨床的かつエビデンスに基づいた音楽の使用法であり（米国音楽療法学会 AMTA）、専門的なトレーニングを受け資格を持った音楽療法士が、個々の対象者にあわせて音楽を適用する方法です。音楽療法士は対象者との治療関係の中で、音楽を意図的に使用することによって対象者の心身の健康のニーズに応えていきます。目的となるニーズは対象者によって異なり、医療においては主にトー

タルペインの緩和や QOL の向上、感情表現の場の提供、ご家族の支援などを目標として導入されます。音楽療法セッションはそれぞれの対象者の音楽的嗜好、身体的、精神的ニーズに基づいたオーダーメイドとなります。

しかしながら、わが国では、医療として用いる音楽療法の認識が十分でないため、医療の中に音楽療法を取り入れ、実践していく環境が整備されていません。

従って、速やかな音楽療法の実地医療への導入がトータルペイン対応を必要とする多くの患者とその家族の期待に応える喫緊の課題の一つと考え、医療としての音楽療法の普及・啓発を目的として本法人を設立することと致しました。

本法人は、広く一般市民を対象として、がん等の難病に罹患した患者とその家族の精神的苦痛（スピリチュアルペイン）などを緩和するために実地医療体系の中に音楽療法を取り入れることで、音楽療法の有効性を科学的根拠に基づき検証するとともに、音楽療法の成果を広く社会一般に対して普及・周知せしめるための事業を行い、もって社会全体の医療福祉の増進に寄与することを目的としています。

具体的には、下記事業を実施してまいります。

- (1) 音楽療法の有効性を評価するための多施設との共同研究事業
- (2) 音楽療法並びに医療への音楽の介入に関する調査・研究を通じて行う教育事業
- (3) 音楽療法に関する情報及び研究成果の普及・啓発事業
- (4) 音楽療法に関する資格制度の確立・認定・普及
- (5) 音楽療法に関する機関誌及びその他の刊行物の発行

何卒、本趣旨にご賛同いただき、皆様の幅広いご参加とご支援をお願い申し上げます。

音楽療法とは

音楽療法とは、個々の対象者（クライアント）にあわせて音楽を適用するヘルスケアとして、今日アメリカで広く認識されています。音楽療法士は音楽を意図的に使用することによってクライアントの心身の健康のニーズに応えていきます。目的となるニーズは対象者によって異なり、身体面、情緒面、精神面、認知面、社会面など多岐にわたるため、音楽療法セッションはそれぞれの対象者のためのオーダーメイドとなります。

音楽療法を受けるには、音楽経験の有無、年齢、病気や障害の有無は問いません。音楽療法士が心掛けるのは、音楽を通して対象者に関わる事で、出生前から終末期を含めた人生のあらゆる段階にいる人々の QOL（Quality of Life：生活の質）の向上です。

従来の治療法の中に音楽療法が取り入れられると、対象者の痛みを軽減する、ストレスを和らげる、幸福感を作り出す、といった事例が実証されています。さらに音楽療法には、気分の向上、筋肉の緊張の緩和、不眠症の改善などの効果に加え、心拍数や血圧などを下げる効果もあることが研究によって明らかにされています。

音楽療法では病気そのものを治療することはできませんが、病気によって引き起こされる様々な症状を軽減して治癒の助けとなり、身体運動を促進し、対象者の QOL を向上すると考えられています。

本法人では、音楽療法の有効性を検証するための臨床試験を実施し、各音楽療法セッションでは、対象者の様々な症状の軽減や回復のために、ひとりひとりのニーズや音楽の好みに合わせて音楽療法士はセッションを計画・実行します。